

平成 27 年度
金沢大学ステークホルダー協議会
実施報告書



平成 27 年 7 月
国立大学法人 金沢大学

目 次

概要	1
ステークホルダーのご意見	2
アンケート集計結果	8
当日の様子	10

概 要

日 時：平成 27 年 7 月 11 日（土） 16：00～18：10

会 場：本多の森会議室〔金沢市石引 4-17-1〕

協議会；第一会議室（1F）、交流会；第三会議室（2F）

プログラム：

16:00	開会
16:03	挨拶・近況報告
16:33	意見交換
17:30	閉会
17:35	交流会

当日ご出席いただいた方々：84名

学外の方々；49名

卒業生 5名，高等学校 4名，自治体 4名，企業 10名，
地域 14名，保護者 5名，元事務職員 4名，
報道機関 2名，経営協議会委員 1名

学内の方々；35名

学生 18名，教職員 17名

※学内の列席者 25名を含めると総勢 109名出席

ステークホルダーのご意見

◆ 卒業生 ◆

- ① 金沢大学のステータスは、国立大学の中でどの位置にあると考えているのかお聞かせいただきたい。
- ② 法科大学院については、定員を削減することや入学者が減少していることが報道されている。その中で、卒業生からの寄附による基金が創設されることも把握しているが、総合大学として法科大学院は重要であり、存続に向け引き続き努力していただきたい。
- ③ 国立大学法人運営費交付金改革について、文部科学省から示された三つの重点支援の枠組みのうち、金沢大学が「世界最高水準の教育研究」を選択したことに敬意を表する。研究第一の意向を示したのだと思うが、研究者の顔が見えてこない。大学のステータスにも関係するが、大学の総合的な研究テーマを設定し明確にする必要があるのではないか。また、研究者が東京など中央志向にあるように感じる。特に、部下を引き連れて大学を離れてしまうことは大変残念に思う。研究者は教育者でもあり、大学の教育者として相応しい行動をとっていただきたい。

※国立大学運営費交付金改革：「地域活性化・特定分野 重点支援」、「特定分野重点支援」、「世界最高水準の教育研究」の3分類から大学自ら選択

- ④ 経済産業省の「ものづくり補助金」事業について、平成 24・25 年度の石川県地域事務局における実績 355 件のうち、大学関わったものが 22 件であり、そのうち、金沢大学は 3 件だった。「金沢大学は敷居が高い」との声もある。大学にとってみれば、中小企業の企画は規模が小さいということなのかもしれないが、企業との付き合いも大事にしてもらいたい。先端科学・イノベーション推進機構や地域連携推進センターの存在は承知しているが、連携の推進や受入体制の構築をお願いしたい。

※ものづくり補助金：国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するために、認定支援機関と連携して、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援するための補助金制度のこと。

- ⑤ 大学の事務局（長）は、文部科学省と金沢大学との単なる連絡係であってはならない。文部科学省と渡り合うことのできる事務局（長）であっていただきたい。
- ⑥ 北陸新幹線の開業に伴い、若い研究者を呼び込むシステムの構築や受入体制の整備をお願いしたい。
- ⑦ 「思考はグローバルに、行動はローカルに、志は高く」あっていただきたい。

金沢大学の回答

- ①, ③ 論文引用数など大学のランキングの指標が複数存在し、例えば、科研費獲得状況で言えば 14 位から 16 位くらいである。世界ランキングでは、中国を始めとした新興国の大学の台頭もあり、順位は徐々に後退してきている。このような状況を踏まえて国立大学運営費交付金改革の重点支援の枠組みのうち、「世界最高水準の教育研究」を選択した。10 年から 20 年を目途に世界 100 位内に入る研究分野を 5 つくらい創出したいと思っており、総合ランキングでは世界 200 位内を目指している。
- ② 法科大学院については、新潟大学や信州大学など撤退した大学もあるが、本学としては死守したい。OB からの寄附を基にロースクールの基金を立ち上げるなど奨学金制度等も充実させ、優秀な学生を集めたい。今、スタートを切ったところであり、我慢の時期であると考えている。
- ④ 実態を調査して回答させていただくこととするが、工学分野ではサイエンスの成果を産業界に役立てることは言うまでもない。ただし、研究者の動きが遅いのは事実である。
- ⑤ ご指摘の方向で事務局を指導している。
- ⑥ 平成 26 年度にリサーチプロフェッサー制度（招へい型・登用型・若手型）を導入するなど、研究者を招へいする取組を開始したところであり、今後充実に努めていきたい。

※リサーチプロフェッサー制度：卓越した研究分野を先鋭化し、先進的・独創的研究の推進および多様な基礎研究の充実を目指すため、優れた研究力を有する教員に研究に専念する環境を提供する制度。

◆ 企業関係者 ◆

- ① 国立大学運営費交付金改革の重点支援の枠組みについて、「世界最高水準の教育研究」を選択したことは、本日の大学からの説明を聞いて当然の決断だと思ったが、一方でいろいろな問題もあると思う。大学として、今までと違うところはあるのか、また、課題は何かについてお考えをお聞かせいただきたい。
- ② 大学ランキングは、広報活動に大きく左右される。高校生を始めとした大学の状況を理解していない者へのピーアールについても考えていただきたい。

◆ 高等学校関係者 ◆

高校も教育改革にチャレンジしており、大学との連携は重要であると考えるところから、今後も協力をお願いしたい。高校生はオープンキャンパスに参加しているものの、大学の持つポテンシャルを理解していないと思う。理解できる場としては出張講義が考えられるが、もっと多面的な方法でアピールしていただきたい。

金沢大学の回答

広報活動の必要性は十分に感じている。研究者は、成果を報告する機会があるものの、その説明は分かりにくく、難しい内容を分かり易く説明する必要がある。志願者を増やす観点からも、広報活動については、地元高校をはじめとして、今後一層努力していきたい。

国立大学運営費交付金改革の重点支援の枠組みのうち、「世界最高水準の教育研究」を選択するということは、教職員のモチベーションが上がる一方で、研究力に勝る大規模大学との競争となり、運営上苦しい時期もあると思うが、大学が世界を目指すと志を決めたからには頑張るしかない。KUGSによる「金沢大学ブランド」の確立や「研究力強化」に伴う外部資金の獲得など、「さすが金沢大学」と評価してもらえよう頑張りたい。

研究については、これまで個人研究が多かったところを、まとまったグループ単位でテーマを決めて、より総合的な研究を推進し世界的な研究に発展させようと考えている。今、その種をまいたところであり、もうしばらくしたら結果が見えてくると思う。併せて、これらの研究成果をアピールできるよう、広報活動をさらに充実していきたい。

※KUGS (Kanazawa University "Global" Standard) :金沢大学<グローバル>スタンダードの略称。大学憲章に掲げる基本的な教育目標を実現するために、本学が育成する人材の具体的な姿として定めた。

◆ 自治体関係者 ◆

金沢大学の地域貢献に対して大変感謝している。様々な大学が学生の教育現場として地域を活用しているものの、その期間は短期間であり、その中で金沢大学は、人材育成プログラムとしてすでに8年の実績がある。その結果、卒業生のネットワークの構築、移住者の増加など具体的な成果も現れており、地域の活性化に貢献していただいている。この取り組みは、日本でもトップランナーだと思われ、もっとアピールするべきではないかと考える。

金沢大学の回答

県内の市町村とは、それぞれ違ったチャンネルで連携事業を実施しており、地域の幸せを一緒に考えたい。珠洲市には、今週末に実施する珠洲合宿でも協力いただくこととしており、本日はその事前講義として、珠洲市長にご講義いただいた。地域には、いろんな形で教育に参画いただいております、今後とも連携を推進していきたい。

◆ 保護者 ◆

附属学校園の生徒や保護者にも、大学の推進している事業や目指す方向性について、情報を提供する機会を設けていただきたい。入学の際に「附属学校園は学校教育学類の教育研究のための施設」との説明を受けており、このことから情報提供をより一層希望する。

全国的に、附属学校園の存在意義が問われていることから、金沢大学ならではの取組を実施してほしい。

金沢大学の回答

生徒に研究を垣間見る機会を提供したい。附属学校園の存在意義については、幼小・小中・中高・高大連携など新しい教育方法や科目の開発、新しい入試方法の模索など中教審からも課題を突き付けられており、様々な方策を検討していきたい。教職大学院もスタートすることとなり、附属学校園と密接に取り組む機会も増える。PTAとも意見交換しつつ、よりよい方策を探していきたい。

◆ 学生 ◆

【学類生】

- ① 大学は、中学・高校に比べ学生に対する説明の機会が少ないと思われることから、大学の施策や方向性などの情報提供の機会を増やしていただきたい。
- ② 研究室に配属された留学生に対する文化交流の機会を増やしていただきたい。
- ③ 「研究に関して研究室を統合して大きな方向に進む」との方向性が示されたが、研究室を統合した場合、研究費の配分に問題が生じないか、また、知的財産保護への配慮が必要ではないかと考えられ、これに対する考えを聞かせていただきたい。

金沢大学の回答

- ① 大学としては、様々なツールを用いて情報を提供しており、学生の皆さんには、自らが積極的に情報を集めてほしい。
- ② 当該留学生は、具体的に言えば金沢大学短期留学プログラムのプログラムC（人文社会科学系短期留学プログラム）の学生だと思うが、文化交流の機会は提供しており、教員とよく相談していただきたい。
- ③ 研究室を統合するのではなく、大きな研究テーマを決めるということであり、各教員が持っている知的財産までオープンにするものではない。大きな塊になって大きなもの（資金）を獲得して行こうということである。

【留学生】

学生留学生宿舍「先魁」は8人によるシェアハウスだが、壁が薄く防音効果が低いことから、トラブルの原因となっている。また、文化・伝統が違う者が共同生活するという観点からもトラブルが生じており、対策を講じていただきたい。

金沢大学の回答

壁が薄いことは承知しており、トラブルが生じていることも把握している。I期の反省点や様々な意見を踏まえながら、II期の在り方を検討しているところである。

【運動系クラブ代表】

- ① 金沢大学中央交差点から北地区への進入が禁止されているが、違反する者が見受けられ、事故の危険性が高くなっており、見張りや監視カメラの設置など対策を講じていただきたい。
- ② 角間中央体育館が工事のため1ヶ月間使用禁止となるが、大会直前に使えない状況となることから、大学として近隣体育館の斡旋や体育館の増設など対策を講じていただきたい。

金沢大学の回答

- ① 違反者がいることについては把握しており、抜本的な対策が必要だと認識している。モラルの問題もあるが、大学として検討する。
- ② 現在の体育館の工事は、雨漏りなど老朽化への対応である。体育館の増設については、早急には対応できない。

◆ 本学教職員 ◆

学域学類制の経過選択制は、いろいろな授業を受けた上で自分の進む道を選ぶということで導入したはずである。一括入試も入学してからの選択肢を広げるためのものであり、GS科目として30科目に集約することはそれに逆行するものではないか？

※GS (Global Standard) 科目:本学が掲げた金沢大学<グローバル>スタンダードを身に付けるために用意した科目。

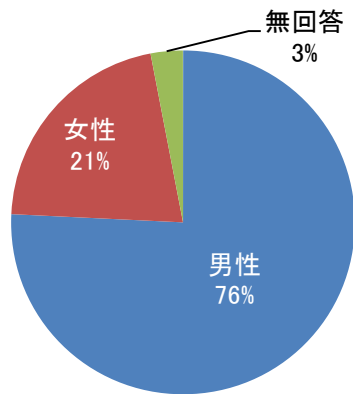
金沢大学の回答

GS科目は、学内において慎重に時間をかけて検討し策定したものであり、理解を深めていただきたい。GS科目には、5つのスタンダードに対応する科目を整備しており、万全な対策を講じている。一括入試については、入学後の選択の幅を広げる仕組みを検討しているところである。

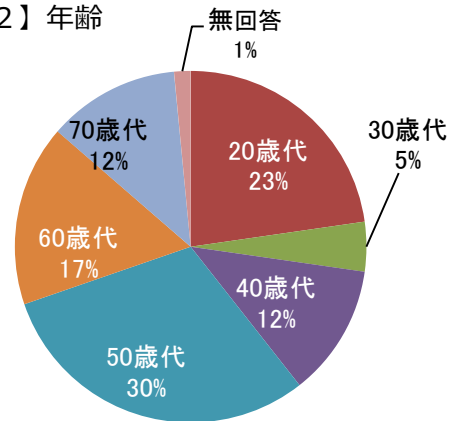
アンケート集計結果

回収件数〔回収率〕：66件〔79%〕

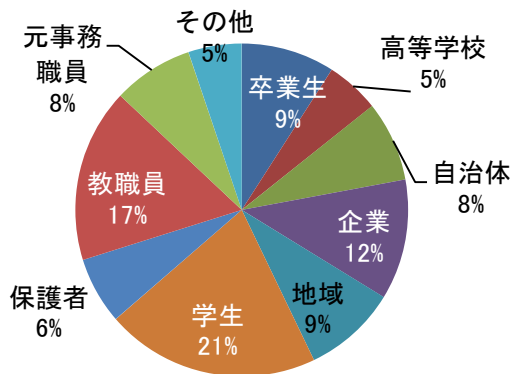
【1】性別



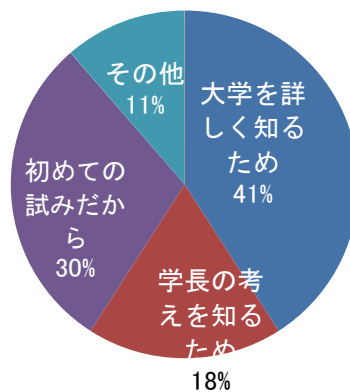
【2】年齢



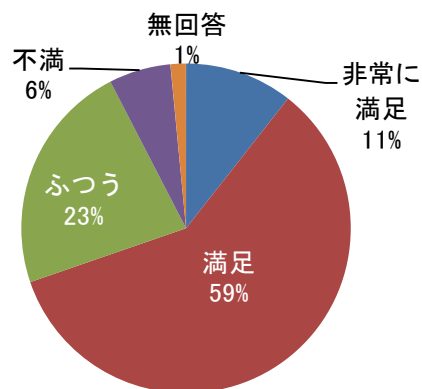
【3】大学との関係区分



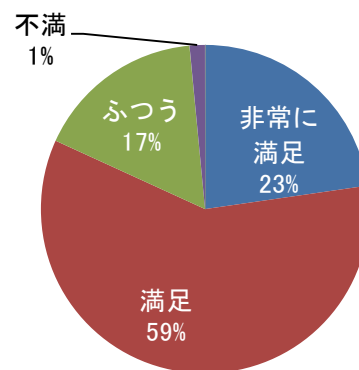
【4】参加目的



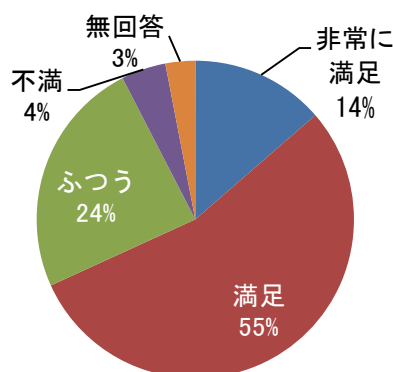
【5】近況報告について



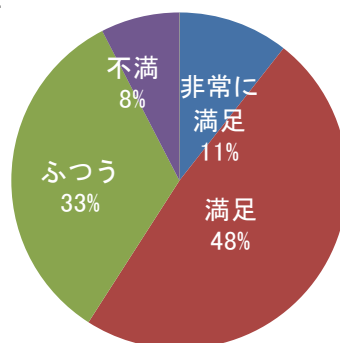
【6】配付資料について



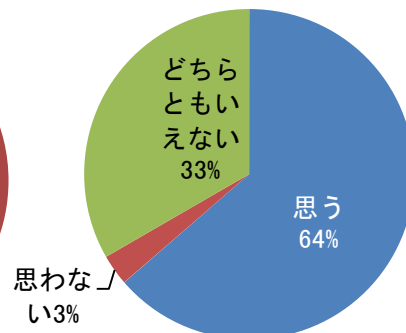
【7】質問への対応について



【8】進行について



【9】次回の参加希望について



【10】ステークホルダー協議会についての主なご意見等

- ・ 次回以降、テーマをしぼることもご検討いただければと思います。
- ・ 様々な分野からの出席で有意義だったと思います。
- ・ 意見交換の時間がもう少し欲しかった。
- ・ 少し説明の時間が短くかけ足に思えたので、もう少し時間を長くとっても良かったかなと思います。
- ・ 初めての試みだということだが、とても良かったと思う。いろいろな立場の人の意見が聞けて、そのことを通して、大学の中身が逆に見えて良かった。特に、学生の方の話が興味深かった。
- ・ ステークホルダー間の情報交換の意味は大きい。ホームカミングデイの一環として実施しても良い。
- ・ 資料は事前にいただければと思いました。
- ・ 意見は事前にも募集したらどうか？

【11】金沢大学に対する主なご意見等

- ・ 受験生に対して、金大の持つ魅力、ポテンシャルをシンプルかつストレートにアピールしたら良い。
- ・ 人社棟のカギが土日と夜は閉まってしまうので、学生証で開くようにしてほしい。
- ・ 学生の駐車場整備を早急にして頂きたい。
- ・ 世界的な研究成果を上げたり、ノーベル賞を受賞される方が出てくると旧帝大に目が向いている高校生をひきつけることができるのではと思います。
- ・ 「附属学校園」に対しての大学の考え方がお聞きしたかったです。
- ・ 文科省の方から文系学部学科を減らす方向の話が出てきているが、バランスのよい研究大学を目指していく上では、あまりよろしくない方向だと思うので、ぜひ減らさないでほしい。

当日の様子



大学から近況報告



意見交換（卒業生）



意見交換（企業）



意見交換（高等学校）



意見交換（留学生）



意見交換（学生）



意見交換（自治体）



意見交換（保護者）

出席者は
約 110 名



交流会

ありがとうございました



発行・編集／金沢大学総務部
〒920-1192 金沢市角間町 TEL(076)264-5111